



# 第188回

カトリック中和田教会  
広報委員会発行  
泉区 中田町 2701  
TEL 045-803-6141  
1994年1月2日

## 1月の行事

- 9日委員会ミサ後
- 16日壮年会 〃
- 婦人会 〃
- 23日サロン
- 30日信徒総会
- レジオ14、21、28

## 追悼の文 ②

山崎 正俊

◎ ずいぶん昔のこと、ロシアの国ではギリシャ正教が、国の宗教であった時代の、皇帝からも嫌われ、教会からも破門された、あのレフ・トルストイを知り（勿論、それは、国家のありかたに厳しい否定的な考えを明らかに示し、教会の姿には『キリストの教えと異ったものだ』と云って、譲れなかった態度に同情してのことですが）、その「神の国は汝等のウチに在り」とか、編集された「人生の道」「文読む月日」とかなどを、大切にするとすることを止めたくないと思っていることは、カトリックの司祭としては、あまりはっきりさせてはならないのに、老年のせいで、寛大なあつかいをさせていただいているのに甘えて、あちこちで話し始めたのですが、立場上では、矛盾していると云われそうです。それでも、人間とはおおむね「そのような者」ですよと居直ったままですまし、そのことに就いては、議論するつもりもなければ、受けて立つ気もありません。終りまで見ていてくださいと云うだけです。この道で、キリスト様の教えに「より近くなれる」と、五十数年も信じて生きて来たのです。

◎ 人に従うよりは上に従えというキリスト様の言葉は、何千年も前から教えられているのに、いつでも誰でも変ることなく、人に従うことを選んで飽きることを知らない。人を従わせねば我慢できない地位に人を立てつづけている。それでもその人が勝手なことをするのは、取り乱さなければ、「革命しかない」と云えないなどは、変なことですが、まったく難儀なことです。表面ではその人たちが定めたことに従うような振りをしながら「実」を取り、すこしづつ住みやすい形を考え出してゆくようにするしかありません。あの人たちは、私たちがここにいるからいばっておれるだけの奴だし、利用価値だっているのですし、何しろカシコイのですから、あまり追いつめたりされるとカミツキマスヨということ、わからせておくだけでよいのです。そうすれば、心やさしく生きられますから。

あの空の星がお互いに手を取りあっている姿を私も見ていますから、消えてしまう星がいても、この世に生まれた者の宿命に耐えて頑張りつづけてみましょう。生命ある限り支えあって。

## 海外で感じたこと

岩淵 英介

仕事の関係で、時々海外出張する。最近久しぶりにヨーロッパにでかけた。以下その時の印象を記す。

英国にて： 第一印象は10年以上前と変わっていないということ。ロンドンの目抜きを散策し、19世紀末には骨格の固まったきれいな町並みを見ながら、最初にロンドンに来た時の『フローの文化(明)とストックの文化』という印象を思い出していた。

当時日本はGNPも大きく伸び、経済一級国としての自信のつきはじめた時期であり、英国の経済的レベルダウンが云々されていた時期であった。しかし英国に来て、植民地支配時代からの400年間の蓄積の重みをつくづく感ぜざるをえなかった。キャッシュの回転が中心のフローベースの経済指標ではとても表現できないようなストックの重さである。

煉瓦と石をベースにした町作りは長持ちする。紙と木の日本とは比較にならない。変化とうつろい、無常を基調にした日本の文化と、悠久と絶対、固定化を基調にしたやや重たい英国の国民性の差にも反映されているであろう。バブルのはじけた現在、このような文化的側面も含めた資産の重さを一層強く感じた。

ポルトガルにて： 首都リスボンも素晴らしい町であった。ロンドンと基本的には同じ石と煉瓦の町である。現在のリスボンは、18世紀にポンバル卿が、大地震で壊滅した町を近代的に再建したものであり、現代に至るまで一級の文化的資産として永らえたのは、彼の先見の明を感じる。しかし、あまりに長持ちする資産の問題点も散見される。市内を車で移動中に会った渋滞もその一例である。石作りの固定化された町の中には駐車場を捻出できるスペースがない。仕方なく、道路の中央線の所にぎっしりと車が停められている。この為、至る所で渋滞となり、大変な時間のロスになっている。この状態を変えるには大規模な町の再建が必要であり、容易ではない。経済発展の阻害要因ともなりかねない。

日本にて： ヨーロッパの伝統ある文化と資産の重さは素晴らしい。しかし紙と木による変化を主体とした日本の文化もまた、時代の流れに適応して行く上で好ましいのかもしれない。表面的なフローの繁栄に流され、文化的背景を見失わぬよう意識していかなければならぬのは言うまでもないが。

## 委員会だより <12月5日(日) 13名出席>

1. ウルフ神父様『金祝』：  
霊の花束に寸志を添えて、お祝いを差し上げる。
2. クリスマスパーティ：  
・豚汁を準備  
・出来る方だけ『持ち寄り』をお願いする。  
・場所は御聖堂を使う。
3. 1994年度教会年間行事について：  
●献堂20周年記念行事（信徒名簿改訂に加えて）  
・4/3ご復活祭ミサ後のパーティを、20周年記念祝いも兼ねる。  
・『歴代の神父様をお呼びしたらどうか』との提案あり。  
●バザー：『実施する前提』で計画する。
4. 新委員の選出：  
・神父様、壮年会長、婦人会長、委員長で改めて推薦者を決定する。
5. 信徒総会：1月30日に開催決定。
6. 財務：  
・11月度決算報告（藤田委員）  
・1994年度教会予算の編成に関する議論を行い、方向付けを決定。  
更に煮詰めて、1/30の信徒総会に諮る。  
以上

## 壮年会たより

- 1) 餅つき大会開催  
12/19 教会前庭において壮年会主催の餅つき大会が開催されました。当教会としては初めての試みであり、その成否が危ぶまれていましたが関係者の協力と信者多くの参加でおおいに盛り上がりしました。今後教会行事の一つとして定着していくことが期待されます。

- 2) 新年会のお知らせ  
平成6年度新年会を次の通り開催します。  
(含平成6年1月度例会)

日時 平成6年1月16日(日)  
9時ミサ後  
場所 新集会室 二階にて

## 婦人会だより (12月19日 27名出席)

- 1 平成6年度の新役員の役割が決まりました。  
会長：セシリア・ノラ 阿部寿美恵 B地区  
副会長：マリア 松下ツヤ子 D地区  
書記：マリア・インマクラータ 藤田智子 C地区  
書記：マリア・テレジア 武石真由美 B地区  
七浦照子 C地区  
伊藤恵子 D地区  
典礼：マルガリータ 松尾しめ子 A地区  
典礼：ルチア 森田チエ子 A地区

- 2 委員会報告・・・清尾
- 3 12月18日の大掃除には多数のご参加有難うございました・・・会長
- 4 神父様にクリスマスプレゼントとして図書券を差し上げました。
- 5 下記の7ヶ所へ例年通り寄付致しました。カニタ後援会、奄美の園、カリタスジャパン、いのちの電話、フマニタス、シャローム、たびじの里、
- 6 一般会計の残額が大部あります。大ザル、電気ガマ、おでん用鍋、花バサミ、花器等の購入の要望がありましたので、購入品目につき調査検討中です。
- 7 1月のお掃除は、平成5年度の旧当番表で行います。但し、1月第2週からの開始となります。2月からは新当番表となります。
- 8 1月16日(第3日曜)のミサ後、『総会と新年会』を開催します。ご出席の方は申し込み表にご記入下さい。尚、当番はB地区です。
- 9 オムツ縫いの日程・・・後日、黒板に表示致します。

## お知らせ



### 洗礼

- 12月6日 ルルドのマリア 佐野久美子  
大和市福田1600-38  
(0462)69-4790  
ベルナデット 相馬美恵  
厚木市愛名940-15-406  
(0462)50-2463  
キアラ 久保田敦子  
横浜市泉区和泉町4522  
(804)-6946
- 12月19日 ビオ十世 石井一(801-6765)  
泉区和泉町4515-7-101  
フランシスコ・ヨハネ 須藤悠也  
マリア・クリスチーナ 須藤 蘭  
(母 由利枝さんの幼児)  
26日 洗者ヨハネ 下迫 瑠平

### 逝去

- 12月13日 マグダレナ 小森カセ(89才)

### 結婚 (東京・三軒茶屋教会)

- 12月4日 内田大悟  
マリア・ゴレッティ 山本裕子

### 転入

- マルタ 林節子 泉区中田町3348-1  
(801)-6341  
メヒテイルデイス 江尻迪子 泉区緑園6-7-2  
(813)-1967  
セシリア 永田麻里 泉区和泉町2788  
和泉アパート234 (804)-1741  
マリアテレジア 須藤由利枝 泉区上飯田  
1338-1-602 (805)-4545

2月の行事

- 6日 委員会 ミサ後
- 20日 壮年会 "
- 婦人会 "
- サロン 13 27 "
- レジオ 18 25



第189回

カトリック中和田教会  
広報委員会発行  
泉区 中田町 2701  
TEL 045-803-6141  
1994年2月4日

追悼の文 ③

山崎 正俊

◎ 梶さんは、あのように精一杯、生き貫かれておられた。御不満も少なくないでしょう。わかってはいます。その点については、何を云っても、なだめられることはないでしょう。私も自分の足らなさを、それだからこそ頑張っているわけです。一人の力では小さくても、続ける同志がいて、やめないなら、すくなくとも、其の処から喜びと協力による暖かさが溢れることになり。どこでも、それを利用して自分の野望を満たそうとする人は在ります。キリスト様の奉仕の精神に倣っているはずの人の内にさえ、そのような人がいるのですから。これまでもそうでしたが、これからもその筈です。一応は自分中心の時期を通らなければ、それが道理に合わないことを気付けないものなのです。私もそうでしたから、他の人のことなど云えはしません。気を付けなければ、いえ、気を付けていても、自分の気に入らないことをしている人を見ると、つい憎みはじめ、差別しはじめ、追い出しを掛けようとする。自分を守り、仲間を守るといふ、もっともらしい理由をつけながら、困ったものです。

◎ 此の頃、もう一人、私の親しい友人がこの世から去りました。あなたよりも、数日さきのことでした。体力が「よく保つなア」と、不思議に感じていました。若い日に、たしか重い病気にかかり、十数年まえに直腸を患い、横腹に袋を取りつけて、「土呂久」のことなどで駆け回っていたのが、生命取りになったのでしょう。いつも、どこにいても、正義感の強い、一本気の行動者ではあったのですが、それで身を過まり、それが身を助けるということになったようです。専門の日本史を九州のほうの大学で講じながら、定年退任してから後にも、社会的に不遇な立場の人たちのための労苦はいとわず、献身し燃え尽きてしまった。私がしようとしても出来ないことを、彼は立派に果してくれたのです。例によって、私は遠くの方からすこしばかりのお手伝いをさせていただき、声援を送る。恥かしい限りでも、そのおかげによって、いくらかの善業のマネゴトをさせていただけました。この友人を失うと、「土呂久の人々」は私と無縁の者になりました。他の誰かが後を続けてくださるようです。

◎ これまでの程度なら、まだしばらくは、お手伝いできると思います。お迷惑でなければ、続けさせてください。この世にいる限りは、

再任にあたって

清水 聖

教会の皆様、新年おめでとうございます。過ぎてみますと短い二年、神父様のご指導、各委員の方々のご協力、そして信徒の皆様のお励み、祈りによって任期を終える事が出来ホッとした思いをしておりましたところ諸々の情勢によりもう一期ご推薦をお受けし、委員長の大役をお引受けする事になりました。浅学非才の私にとって大変な年を迎えました、宜しくお祈り申し上げます。

NICE2、第二回全国会議の課題は「家庭の現実から福音宣教のあり方を探せ」、そして今年に国連の国際家族年に当りそのスローガンは「家族からはじまる小さなデモクラシー」とあります。歴代の神父様、先輩諸氏の造りあげたものでしょう、昔から家族的な教会といわれています。最近のお聖堂の中をみますと、ご家族揃って「ごミサ」をうけている姿を良くみうけます。キリストの愛を私達のものだけでなく、司教様、神父様のいう開かれた教会の意味を理解しなければいけないと思います。レジオ、聖書研究、奉仕活動、料理講習会、環境問題勉強会、聖歌の集い等、各サークルの活躍がうれしい存在になっています。教会としても色々な問題点があります。壮年会、婦人会、青年会よりの前進的なご意見を頂戴しまして、委員会にて取りまとめたいと思います。神父様のご指導のもと、神様のお恵みを頂き任期を全うしたいと考えております。

平成六年一月二十二日

委員会だより <1月9日(日) 14名出席>

- 中和田教会 自衛消防隊：平成6年度のメンバー決定 ⇨ 掲示済み
- 信徒総会開催の公示文書 ⇨ 委員会了承 (1月30日の9時のごミサ後にお聖堂で開催)
- 新委員候補者推薦案(教会委員選出委員会)：⇨ 委員会了承 ⇨ 掲示板に公示
- 一粒会の活動報告の説明(小谷さん)：⇨ 委員会了承 ⇨ 信徒総会で説明
- 信徒総会議事進行プログラム：委員会了承注：全体の進行役は萩原さんをお願いする。財務監査役は、甲斐さんをお願いする。
- 平成5年度教会財務収支決算の説明：⇨ 委員会了承 ⇨ 信徒総会で報告

- 平成6年度教会財務予算(案)の説明：
  - 全体として『緊縮型』の予算案である。
  - 予算案に関し、または関連して出席者より下記要望、意見、議論あり。
    - ・侍者服(子供用)やご祭壇の覆いの新調、
    - ・花鉢、
    - ・献堂20周年記念パーティの運営法、
    - ・献堂20周年記念発行の信徒名簿の内容(装丁、印刷法他)
  - ・(壮年会例会で出た意見の紹介として)『敬老の日』のお祝は、一律ではなく、例えば古希、喜寿、...等の節目にはアクセントを付けた方が良くはないか ⇨ 具体化を検討していく
  - ・『なかわだ会報』の郵送先の見直し、等々
- 上記に配慮して予算案を更に検討し、信徒総会に諮る。

- 平成6年度教会年間予定表：⇨ 委員会了承 ⇨ 信徒総会で配布以上



壮年会だより

(1月16日 22名出席)

- 委員会報告(宮崎会長)
- 昨年度行事報告(鈴木副会長)
- 昨年度会計報告(上野さん)
- 1994年度壮年会行事予定
  - なかわだ会報の原稿の内容は自由であるが、その時折々の内容も欲しい。婦人会にも寄稿を呼び掛けて行く。
  - 教会裏が駐車場となり環境が悪くなり、青垣にしたいこともあるので、3月に2回手入れの日を取る。
- 新年会
 

イタマエ花坂さんが中心になり、腕によりをかけて作ったとびきり美味なキリタンポ鍋を囲みながらの新年会。たいへん良い雰囲気、新年の抱負をテーマに全員が自己紹介をし、楽しいひとときを過ごしました。

今年は還暦を迎えるので第二の人生をこう生きたい、健康第一に、子供が結婚、孫ができた、ミサにまめにいたい、毎朝ジョギング等々。ひとりひとりの個性や本音に触れ合える懇親の名にふさわしい会となりました。

準備や片付けに協力して下さった婦人会の方々に感謝いたします。

婦人会だより

- ◎1月16日の総会、新年会は出席者52名にて行われました。阿部(寿)会長による開催宣言に続いて神父様のお話があり旧石川会長の感謝のご挨拶がありました。
- ◎年間行事報告、会計報告及び特別会計報告が了承されました。
- ◎阿部(寿)会長より新役員の紹介、委員会報告がありました。
- ◎婦人会の活動について話し合いがなされ、講演会についてや福祉活動についての有意義な意見が沢山出されました。あと新年会に移り多くの余興が出され、和やかな雰囲気の中13時30分に閉会致しました。
- ◎【役員役割交代】
  - 書記 藤田智子→七浦昭子
  - 会計 七浦昭子→藤田智子
- ◎【横浜教区婦人同志会の委員の件】
 

今まで宮崎幸子様一人でしたが今年より阿部映子様も加わりお二人になります。
- ◎【新会員のご紹介】
  - グロリア 石井洋子 C地区
  - セリア 永田麻里 C地区
  - マリアレジア 須藤由利枝 D地区
  - メチルディアス 江尻迪子 A地区
- ◎おむつ縫い 2月16日(水)10時より12時迄  
次回例会 2月20日(日)第3日曜日  
お茶当番はC地区になります。宜しくお願い致します。

お知らせ

おくやみ  
1月30日 セリア 鹿野 ミサヲ様

灰の水曜日 16日 ミサ 午後 7時  
大斎、小斎

十字架の道行 四旬節中の毎週金曜日午後 4時  
から行われます。

編集後記

お怪我をされて入院されていた山崎神父様は一般病室に移られて、経過が良ければ6日の週にも退院される見通しとなりました。どうぞ、皆様一日も早く退院されますように、お祈りください。

今回の委員改選で岩淵さんに担当していただくことになりました。フレッシュな内容にどうぞご期待下さい。また七浦先輩には引き続きご協力いただける事になりました。「なかわだ会報」を続けることは皆様のご理解がなんとしても必要です。これからも今まで以上のご協力をよろしくお願い致します(M・I)

## 婦人会だより

(2月20日 出席：35名)

### 1. 委員会報告(伊藤)

### 2. 連絡網の訂正および変更

- 訂正：林 節子さん電話番号  
801-6343 — (正)801-6341  
須藤由利枝さん電話番号  
無記入 — 805-4545
- 変更：藤田と岩崎を入替え

### 3. 3月例会の開催日変更

定例の3月20日が共同告解の日当たる為、3月の例会は13日に変更致します。

### 4. 山崎神父様お見舞いに関して

- \*お見舞い訪問を希望される方が多いため、調整を兼ねて、訪問予定を掲示のカレンダーに記入して頂くようお願い致します。
- \*婦人会からも、何かご入用の品を伺ってお見舞いをさしあげることになりました。

### 5. バザーに関して

- \*委員会からの要請により、バザー委員会に役員の中から松下・七浦・岩崎の3人が出ることになりました。
- \*奉仕日は下記の通りに決めさせて頂きました。楽しく作業が出来たらと思います。ご協力をよろしくお願い致します。

4月から第1月曜日と第3木曜日  
午前10時から

午後もして下さる方は、各自お弁当をご用意下さい。

### 6. おむつ縫いの奉仕は、従来通り当番のグループが中心になって頂きますが、今年は作業日を毎月第2土曜日と決めました。お当番でない方もよかったですらお手伝いをお願い致します。(3月から実施)

### 7. 講演会の開催について

この度、婦人会の主催で、下記の通り講演会を開催することが決められました。お話は、アフリカのシェラ・レオネで援助活動に携わっておられる「宣教クララ会」のSr.根岸です。

日時：3月27日(日・枝の主日)  
ごミサの後引継ぎ  
場所：中和田教会聖堂

### 8. 春の遠足を予定しています。ご希望またはご推薦の場所がありましたら、3月例会に持ってきて下さい。

[次回例会は3月13日・お当番はDグループ]

## おしらせ

### ★ 神父様の御様子

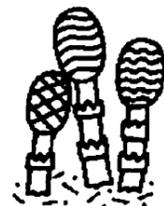
- ① 現在聖テレジア病院に入院されていますが、3月末ご退院の予定です。
- ② 面会時間は、pm2:00～4:00に制限されておりますので、ご注意下さい。

★ 当面土日のごミサは、日曜朝9:00のみとなりますのでご注意下さい。

★ 山崎神父様ご療養中の主任代行司祭は戸塚教会のJohn Carten神父様となります。

### ★ 転入

みそこ  
美底 昭司(ヨハネ)  
真里安(聖体のマリア)  
沙織(マリア・フランシスカ)  
泉区和泉町2219-173  
Tel. (045)805-0217



### 編集後記

山崎神父様が、病院のベッドの上で、痛む右腕をかばいながら、原稿を書いて下さいました。有り難うございました。

今月はたくさんの原稿量でしたので、新しいレイアウトを試みてみました。楽しい広報誌を作って行きたいと思っておりますので、皆様の忌憚のないご意見をお寄せください。

(E.I)

### 今月の予定

- 3月 6日 委員会
- 3月 20日 赦しの秘蹟
- 3月 26日 大掃除(第四土曜)
- 3月 27日 枝の主日
- レジオ 11、18、25日



### 第190回

カトリック中和田教会  
広報委員会発行  
泉区 中田町 2701  
Tel. (045) 803-6141  
1994年 3月 6日



一月二十五日 ①

山崎 正俊

◎ 今日は、たまたま聖パウロの回心を記念する日に当たります。そのために、教会一致の祈りをする、その週間の最後の日にも当たります。聖パウロのカイシンは、行いを改めるというのではなくて、キリストのほうに心を向け変えることだというふうに教えられています。しかし、聖パウロはそれまで、ファリサイ派の学者として生きていたのですから、キリストを「救い主」として、信ずるようになったとは云っても、何処かに、違うところがあったのではないかと、思います。それは余程の天才か、特別な恵みでもない限り、できもしないことだからです。

◎ この日本にも、若い日に、キリスト教の書物に、知らずして、接した人があります。徳川時代の終り近い頃に活躍した人で、平田神道をおこして、明治維新といわれる大改革をした人たちの、精神的指導者を出した平田篤胤(ヒラタ・アツタネ)という人のことです。この人は、中国から持って来られた漢籍・漢文で書かれた—その多くは仏教や儒教のものでしょうが—それを、働きながら読みあさっていました。後では、仏教や儒教の教えが、日本の古典として尊まれている神典・あの「古事記」という書物のこと

ですが、その第一の行から、その意味を、とりちがえさせてしまったと、主張するようになり、そのときに読んだ公教要理をもとにして、その解決をはかっているのです。その頃でも、キリスト教は禁じられているのですが、漢文で書かれていたために、検閲した役人には、それが見分けられなかったのだらうなどと、学者たちは云っています。

その「天主実義」と、「七克」という書物は、この若い平田篤胤の心をゆり動かしてしまったのです。そこには、まったく新しい考え方、三位一体の神のことや、道徳の規準が説明されていました。その教えを、まず最初に、古事記の第一行の「姿形は見えない、三つの神の名」に当てて、この世を造り定められた、造化の三神として唱えたのです。—どのように伊勢にある神宮皇学館大学の山田氏が非難しようと、東北帝国大学の村岡典嗣(ムラオカ・ツネツグ)の論証は世に受け入れられているようで、私の記憶では、「本教自鞭策」として書かれた、門外不出の書物として残されているものに明らかです。けれども、その平田篤胤は最後まで神道のうちにとどまり、平田学派の創始者としての名誉に、満足しています。

## 私の故郷・二題

小野寺 功

### その一

私の出身地は、岩手県の東和町というところで、花巻と遠野の中間地帯にあります。

学生に自己紹介をする時は、地名だけではわかってもらえないので、宮沢賢治が「イーハトヴ」と呼んだ花巻と、柳田国男の「遠野物語」で有名な遠野の街道筋というと、すぐ覚えてくれます。それほど賢治は知られています。

戦前は釜石線の土沢駅から、賢治の「銀河鉄道の夜」のモデルとなった軽便鉄道で花巻中学に通いました。そしてここには賢治を知る方々が沢山いました。父兄会の会長も賢治の弟にあたる宮沢清六さんでした。

また私の同級生の八木忠治君のお父さんは、八木英三といい、賢治が小学校の三・四年生の時の担任の先生でした。賢治の童話好きはこの先生の影響で、「私の思想の根底は、すべて小学校のころ先生から聞いた童話や物語から貰ったように思い感謝しています。」とよく言っていたそうです。

しかし当時は私も、没後六十年で、こんなに有名になるとは予想しませんでした。先日賢治の代表作「グスコーブドリの伝記」の長編アニメーションの試写会に招待されましたが、全く立すいの余地もない盛況で、驚きました。

私自身、岩手の歴史や風土が反映し、宗教と科学が一体となった、人間のやさしさと豊かな心を育てるこの壮大なロマンに、深く感動させられました。



### その二

故郷といえば、最近こんなことがありました。かつて私の授業に出ていた女子学生が、卒業後の夏、ふと思い立って花巻の宮沢賢治記念館と遠野物語の地を訪ねることにしました。母親の反対を押しきって、生まれてはじめての一人旅でした。

遠野市のユース・ホテルに宿泊し、そのささやかなパーティーで一人の青年と出会いました。彼は東京からこの地方の調査に来ていた研究者でした。

その後各自別個に行動し、帰りの新幹線で偶然また出会い、東京で何事もなくお別れしました。ところが半年後、山手線内でまたバッタリと出会い、この三回の偶然で、お互いにただならぬ御縁を感じるようになりました。

今二人は結婚し、元気に活躍しています。人はこれを偶然とみるでしょうが、私は東北の大地が二人を呼んだのだと考えています。

私にとって故郷イーハトヴは、賢治と同じように、依然としてあらゆる可能性に富む不思議なドリームランドなのです。



## 委員会だより

(2月6日(日)開催 13名出席)

1. 山崎神父様のおけが (国際親善病院に入院)
  - ・2/1に集中治療室から一般病棟に移った。
  - ・まだ微熱が続いており、お見舞いはなるべく自粛した方がよい。まもなく転院の予定。(⇒最近の状況は次頁にあります。)
2. 森田神父様のお話
  - ・山崎神父様の転院先は調整中であるが、七里ヶ浜の聖テレジア病院の可能性が高い。
  - ・山崎神父様が復帰される迄の間の中和田教会の主任司祭代行には、戸塚教会のジョン・カーテン神父様が任命された。
  - ・ごミサは下記の神父様が交代であげられる。  
(★但し、土、日のごミサは『日曜日の午前9時からだけ』とする。)
  - ・2/6 第一、第二 森田神父
  - ・2/13 シュトルテ神父(イエズス会)
  - ・2/16 (灰) 森田神父(7:00pm)
  - ・2/20 シュトルテ神父(イエズス会)
  - ・2/27 松村(菅)神父
  - ・3/4 (初金) 森田神父(10:00am)
  - ・3/6 木村神父
  - ・3/13 上原(義)神父
  - ・3/20 森田神父(赦しの秘蹟)
  - ・3/27 森田神父
3. 財務報告：1月度決算報告
  - ⇒委員会了承
  - ・1/19に教区による93年度会計監査が行われ、問題なく終了した旨報告。
4. 『葬儀のしおり』(改訂版)の常備
  - ・一部¥600であるが、50部程教会に常備したい旨提案あり。  
⇒委員会了承
5. 信徒名簿改訂
  - ・山崎神父様の第一次チェック完了。
  - 3月末日発行目標で進行中。
6. ご復活のパーティー(4/3)
  - ・既に案内の通り、献堂20周年記念と兼ねて行う。運営は『教会予算+持ち寄り』で行う。
  - ・歴代の神父様(木村神父様、宮下神父様)にも来て頂くよう、声をかける。
7. 縦の木を植える場所
  - ・20周年記念の一環として、現在鉢植え状態の縦の木を植え直したい。植える場所について、壮年会、婦人会に諮る。

### 8. バザーについて

- ・本年度バザーの運営方針、方向付けについて次回委員会にて審議する。
- ・バザー委員は壮年会、婦人会より各3名選任する。(委員会からは花坂さん)
- ・開催日の候補は、10月30か11月6日。戸塚教会と早めに調整して決める。

### 9. その他

- ・信徒総会で提起された課題に関するフォローアップは次回委員会で行う。

以上

## 壮年会だより

(2月20日 出席：12名)

1. 委員会報告(上野書記より)
2. 今年度のバザーの壮年会としての方向性
  - ・親睦と建設改修のための資金作りを目的とする。
  - ・収益を上げる方向で努力していく。福引き付きのバザー券の発行や業者への委託販売等
  - ・ボランティア精神の範囲内で自主的精神を大事にしながら無理の無い範囲内で
3. シンボル樹の記念植樹の件
  - ・創立20周年記念のひとつとしてモミの木の植樹を3月13日(日)のミサ後に行う。その準備としての穴掘り作業を2月27日(日)のミサ後にする。
  - ・場所は婦人会の意向も聞くが、駐車場、土質、枝張りの範囲等を考慮して決める。
  - ・3月13日には子ども達も参加するようにし、記念撮影をする。その後垣根の手入れ作業をする。
4. その他
  - ・教会の屋根等の修理が緊急に必要。
  - ・集会室に物置や大きめの流しを設置したい。
  - ・神父様がだいぶお元気になられたこと。

以上



## 小さな森

S. I.



私の家の西裏に森が有り、此の森と数十年間共に歩み、色々な出来事に感動したり、驚いたり、生活上なくては成らない存在で有る。森は様々な木で構成され、名も解らず知っている木は数本、四季毎に色々な模様を表し、春が来ると赤い小さな可愛い若芽が枝一面に出始めると、小鳥は餌を求めて集まり、小鳥の楽園、夏が近づくと若芽が濃い緑に変わり枝に青汁をかけた様に濃い緑一色に覆われ、窓から眺める美しさは又格別、目の保養には最適で有り、近視も直るのではないかと思う？青葉が出る頃から水を吸い上げ、旺盛に成り元気一杯、太陽の光を受けて、天に向かって先を急いで伸び、幹は太り、根は大地に深く張り、巨木と成り、成長をし年輪を増やす。しかし小さな木は太陽の恵みも受けられず、細々と脇から枝を出し、微々たる恵みを求め天に向かって伸びるのに努力を重ねて居る。緑の葉が出始めると、小鳥は巣造りで忙しく、一生懸命に枯れた葉を運び、卵を生み育てる準備に良い場所を捜し求めて居る。

夏に入ると気温も上がり暑苦しいが、森のお蔭にて、清々しい涼しい風が、そよ、そよと部屋に送り込まれて、エヤコンを使用する事も無く快適な日々を送り。風の強い日、台風の時などには防風林の役目を行い。秋になると葉は枯れ、一面にオレンジジュースをか

けたように黄色に染まり、風が吹く度に一枚、二枚と宙に舞い上がり、地上に落ち積み重なり、幼虫がその中に入り越冬し春を待つ。根の廻りに落ちた葉は寒い冬に根を暖め、腐葉土化し飼料と成り、木の成長を助ける。葉が落ち裸に成った木の隙間から真っ赤な夕日を眺めると、昔遙か遠く離れた地、満州の広大な原野の地平線上に、大きく真っ赤な夕日が徐々に沈む光景を思い出す。森にも冬がやって来る、数年振り的大雪昨夜から降り続いた雪が今日も降り、野も畑も銀世界、森は木の先から下の枝まで雪が積もり、枝は重みに耐えきれず折れたり、曲がったり哀れな姿を見せる。哀れに思ったのか、北風が吹き荒れ、木の雪を吹き落とす。枝から雪の落ちる時、一面真っ白に覆われその霞んで見る森の景色の美しさ言い様がない。森は元の姿にかえる。

北風が吹いても森のお蔭で家は結露もできず。家を守ってくれる森。此の小さな名も無い、雑木林の上にも、神の豊かな恵を受けながら、木も、小鳥も、虫も、共に助け合いつつ生き、私達もその自然な環境の恩恵を受けて居り。此の小さな森を守り、生かして下さる。神様に深く心より感謝をするのみ。

終わり



## 委員会だより

<3月6日(日) 13名出席>

### 1. 山崎神父様のおけがの状況:

お元気になるれ、杖をついて歩き回れるようになった。3月末に退院予定。  
(⇒既に次頁のように退院なさいました。)

### 2. 2月度財務報告: → 委員会了承

### 3. 信徒総会で提起された課題:

#### ●『建設会計』の件:

現在の借入残高、及び金利を勘案して、定期預金満期日(本年5月17日)をもって、借入残高一括返済する。

#### ●『一般献金』の件:

(福田神父様からも指導のあった様に)使用目的別に、項目を分ける方向で検討していく。

### 4. 教会の屋根の修理の件:

20年間、全く手入れをしていない為、傷みがひどく、塗装工事が必要で実施する。  
工事費は約123万円(山崎神父様了承済)

### 5. 香部屋の水道、女子トイレの修理:

既に実施済。工事費は219,600円。

### 6. 94年度バザーの件:

(目的:『対外支援』並びに『教会施設充実』)

委員は、委員会から 花坂さん、壮年会から 鈴木さん、上野さん、甲斐さん、婦人会から 岩崎さん、松下さん、七浦さん、の合計7名。ご協力を宜しく願います。

### 7. 『庭をきれいにする会』

・3月13日に、縦の木を移植する。  
・会より申入れのあった①肥料、②(駐車場の間の)垣根の木、で概算5万円の支出の件は、①は即刻購入、②は別途計画を出して頂いてから検討、とする。

### 8. 『二俣川教会からの協力要請』の件

1年間かけて建て直しを行うので、御聖堂を貸して欲しい旨の協力要請を受けているが、中和田教会としては、『第二日曜日の午前11時~』を提案していくこととした。  
(⇒その後全日曜日の方向で話が進みつつあります。)

### 9. 献堂20周年記念&復活祭パーティー

(4/3): 『教会予算+持ち寄り』で行うことを確認。

### 10. 要理学校終了式:

日程は神父様と別途相談。

### 11. 3/27 『枝の主日』:

ごミサ終了後、シスター根岸の講演会が婦

人会主催で開催される。婦人会会員以外の方も、是非聴講願いたい。

### 12. 献堂20周年記念:

新たに、紅白饅頭+御絵を配ることを計画に加える。(信徒会より5万円出す。)

### 13. その他:

・建設委員(位田さん)より、いろいろな構想案について披露あり。  
・大掃除は4月2日10:00amより行う。

以上



## 婦人会だより

(3月13日 出席:34名)

### 1. 委員会報告(松田)

### 2. 連絡網からの削除

・太田清子さん(B地区)茨城県結城市へ転居  
・青柳恵代さん(C地区)アメリカへ転居

### 3. 復活祭・献堂20周年パーティーの件

各自の持ち寄りとは別に、婦人会としてお赤飯とお吸物を作る予定です。

4月2日の大掃除、卵ゆでと併せてのお手伝いをよろしくお願い致します。

なお、大掃除は通常の「初金」の当番の方が中心になって10時から行います。

### 4. 春の遠足の件

5月11日(水)に実施と決まりました。場所については、もう少し検討することになりましたので、よい案がありましたら教えて下さい。

### 5. 第39回横浜教区婦人同志会総会の件

詳細については、案内のはがきが掲示してありますので、参加希望の方は、阿部映子さんへお申し込み下さい。(4月3日迄に)

### 6. ボランティア保険加入の件

4月は新規切り替えの時期ですので、加入希望の方は500円を添えて、松田ノリ子さんへお申し込み下さい。

### 7. ファイバーリサイクル運動への協力

「ファイバーリサイクルネットワーク泉地区連絡会」の活動に協力して、年4回の回収に婦人会として参加することになりました。当教会も回収会場になっており、下記の日に回収が行われます。

春の回収: 3月15日(火)10時~12時

夏の回収: 6月14日(〃) 〃

## おしらせ

- 洗礼 4月17日  
ペトロ 松下 健 泉区和泉町2891  
Tel. 804-4858  
アンナ 杉山 綾子 相模原市
- お悔やみ  
4月10日 ルカ 岡本 堪 様
- 神父様 出張  
カトリック国鉄の会  
5月27日～5月29日  
連絡先 京都弥生会館  
Tel. (075)841-4811 (代)



- 5月のごミサ時間  
5月一杯の土日のごミサは、日曜朝9:00のみです。(土曜日夜7時、日曜日朝7時のごミサはありません。) ご注意ください。
- 二俣川教会へ御聖堂をお貸しします  
平成6年5月8日～平成7年4月9日  
(枝の主日)  
ごミサの時間は午前11時です。

- ハイキングについて  
婦人会の遠足が5月11日、壮年会主催のハイキングが5月14日に行われます。日程が近いのですが、壮年会主催の方は、小学校が休みの第二土曜日ですので、お子様も含め多数の御参加を期待しております。  
行き先等は、婦人会、壮年会の各報告を御参照下さい。また詳細及び申し込み表は、壁に掲示してあります。

## 信徒名簿 補修

- 追加  
ヨゼフ 松下 春樹 泉区和泉町2891 Tel. 804-4858  
マリア・アナスタジア 久美  
ヨゼフ 裕樹
- 電話番号訂正  
トマ 石井 彰宏 誤 Tel. 805-1647  
正 Tel. 801-1647  
アウグスチノ 徳山 三郎 誤 Tel. 0467-78-3742  
正 Tel. 0467-76-8015
- 転居  
フランシスコ アシジ 岩崎 暁 宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉新地  
西裏山36-98 コーポ ルシード204号

## 編集後記

侍者、先唱者の予定表をこの会報に載せようという案が出ているそうです。そのような色々な情報をお伝えする役立つ会報として、皆様に活用して頂ければと思います。

どうかご意見、ご提案をお寄せ頂くと共に、積極的に御投稿下さいますようお願い致します。

(E. I.)

## 今月の予定

- 5月 1日 委員会
- サロン 8、22日
- レジオ 13、20、27日



## 第192回

カトリック中和田教会  
広報委員会発行  
泉区 中田町 2701  
Tel. (045) 803-6141  
1994年 5月 3日



一月二十五日 ③

山崎 正俊

同じような理由から、聖パウロは、偉大なキリストの使徒として生きはじめたとしても、それまでの、特にスグレたファリザイ派の学者で活動家としてキタエラレた考え方が、そう簡単に消えるとも思えないので、「キリストの教え」「パウロの教え」などという言い方にも、心打たれるところがあるわけです。たとえば、イエズス様の十字架上のイケニエとしての御死去は、それを信ずるならば、豊かな恵みを受けさせ、救われる者にしてくれます。選ばれた者の印・割礼は、必ずしも受けなくてもよいという判断です。

大祖アブラハムが義人として認められるのは、その信仰に依ります。何はおいても、神様には従わなければなりません。たとえ、約束された子であっても、求められれば、イザアクでも神様に捧げなければならぬのです。ソレナラ、当然のこととして、神様に従う者である自分は、救われるために、子殺しの罪ぐらいは、犯すことを、ためらってはならないのですか!・・・何という無残な定め、利己的な判断ではありませんか。けれどもあのかときには、別のイケニエの動物が神様によって準備されており、それが与えられていますから、ホツとさせられるのですが、神様は、何とヒドイ試みを、なされるものですね! このことを納得するのは、私には今でも、ム

リです。  
イエズス様を信じ、その教えに従って、死んだ後のシアワセを願う。それは、わかるのですが、ここにあるほどの説明、これぐらいのものでは、私のようなものにとっては、恐れを感じさせられるだけだからです。— 御独子イエズス様のあの死をお命じになった御父のお心は、痛むことがなかったのではないということでもなかったのでしょうか、聖パウロには、神様がなさることは、みな善ですから、キリストへの信仰によって生きているものならば、何事も、神様によって義にかえられるはずだ。「何をしたかではなくて、何をしようとして、そのようなことをしたかが、問題になるのだ」と、云い切れるのです。

はじめは迫害する者の側にいたのに、「回心した。仲間に入れてくれ」と云って、後から来たと思ったら、いくらもしないうちに、えらそうな顔をして、新しいことを教えようとするので、聖パウロを憎み嫌いはじめます。ところが、聖ペトロはこのわけのわからぬ男に賛成し、聖大ヤコブもそれに同調する。これはどういうことでしょうか。勿論、現代の異邦人である私も、そのお陰で、あの変な習慣・「割礼」からマヌガれる。これはたしかに有難いことですが。

## 教会オルガニストに思う

小谷 徳爾



西洋では、オルガンは、パイプオルガンを総称し、古くから教会で礼拝に採り入れている。

近代1835年、パリのアレクサンドルハルモニウム製作所で、一人の職人が、リードオルガンなるものを発明、これを1860年、アメリカの楽器会社が、製品化した。

東洋、日本も明治の中頃、大正、昭和にかけて、各所でたくさん使われた。

過年ロングランした瀧藤太郎の映画のシーン、廃校、山村分校でこのリードオルガンを奏でている。若い世代の方達は、オルガンとは、エレクトーンのイメージが強いと思う。

オルガンのルーツは、こうなのだ。

服部正さんは、こんなことを述べられている。確かテープの解説の中で。

『オルガンのない教会は、火の無い家のように寒々としている。オルガンは、人々の心を優しく、温めてくれた。生活の中に、音楽が少なかった、明治、大正時代は、教会で歌われる歌が貴重な存在で、歌いたいばかりに教会へ通った人がたくさんいた。

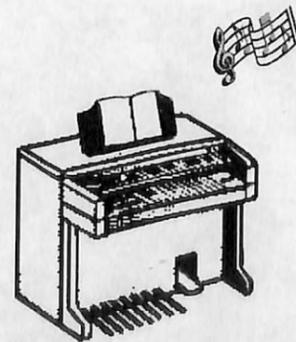
山田耕筰、大中寅二、洋楽畑の作曲家や、演奏家が教会から生まれ、日本人の洋楽へのあこがれ、それは教会の歌、聖歌、賛美歌の中で育まれたと思われる。長い歴史のうちで選り残った優れた教会の歌、この美しいメロディを、オルガンにより、絢爛と優美、荘重な宝庫として構成している。』

献堂15周年記念誌「中和田教会のあゆみ 1974年-1989年」の年表に、1981年(昭和56年)10月25日、聖堂に、エレクトーン購入と。

爾来、弾いて下さったオルガニストは、成人で社会に、或いは転出され、平安なご家庭の主婦に、子育てに毎日を注がれるお母様に、今、新たな世代の方が、立派に引き継がれ、献堂20周年、このエレクトーンは、灯を燃やし続け、奏でられている。

ほのぼのと、安らぎと、祈りの主日、オルガニストの方に、心ゆく迄鍵盤に指を走らせて下さいと、エレクトーンが蜃気楼のように語りかけているのを夢想している。

以上.



## 委員会だより

<4月10日(日) 14名出席>

### 1. 4月3日のパーティーの件:

ご復活、献堂20周年記念、神父様快気祝い3つを兼ねたお祝いパーティーは、盛大に挙行され、無事終了した。関係者の協力に感謝。

### 2. 二俣川教会からの協力要請の件:

二俣川教会建物の建て替えの為の(中和田教会)御聖堂借用要請に関し、同教会から斎藤、岸田両氏が来訪されて、要請内容主旨説明ならびに打合せを行った。結論として、『毎週日曜日午前11時から二俣川教会ミサを始める』原則で合意し、その他運営細目についても取り決め、継続検討項目については後日別途協議とした。

### 3. 3月度財務報告(福島委員):委員会了承

### 4. 屋根、等の補修修理の件:

補修工事終了し、建設会計より支払いも完了した。(¥1,231,000)

### 5. バザーの件:

開催日を10月30日(日)に設定して準備を進める。

### 6. 要理学校:

本年度の生徒数は9名。

日曜日に、なかなか出てこないのが悩み。

### 7. その他:

・侍者、先唱の当番表を中和田会報に掲載する方向で検討する。

・『青年会』の実態がよく掌握されていない。別途調査。

・大型物置設置に伴う費用見積の説明あり。土間コン工事は壮年会でやる、等の条件で¥392,700。

壮年会、婦人会に諮って、検討継続。

以上

## 婦人会だより

<4月17日(日) 31名出席>

### 1. 委員会報告

### 2. 春の遠足の件

5月11日(水)

場所「薬師池公園」町田市

集合9時30分 小田急・長後駅改札口

交通費1200円・お弁当持参

小雨決行

参加される方は、掲示してある申し込み用紙に記入して下さい。(5月8日締め切り)

### 3. 信徒名簿の件

確認をして訂正のある方は、委員会に連絡して下さい。



### 4. バザー(10月30日)の件

販売品はどのような物が売れるのか、検討しました。作品のアイデアや意見を、どんどん出して下さい。自主製作品を大歓迎いたします。材料費は請求して下さいようお願いいたします。バザーの奉仕日は5月9日(月)(2日は連休の為変更)と19日(木)です。

### 5. 横浜教区婦人同志会の件

積極的に多くの方が会員になって下さい。阿部映子さんまでお願いします。

### 6. 新会員紹介

・永田麻理さん(C地区) (連絡網に記載済)  
・美底真理安さん(C地区) (連絡網には転居された青柳さんの所に入れて下さい)

☎805-0217

・タウ・タン・タニーさん(C地区)(連絡網は大原さんと内藤さんの間に入れて下さい)

☎805-4541

[次回例会は5月15日・お当番はB地区]

## 壮年会だより

<4月17日(日) 14名出席>

### 1. 委員会報告(宮崎会長)

### 2. 新入会者紹介

美底さんが新しく入会。

自己紹介有り。

### 3. 春のハイキングについて

<コース>

戸塚(JR)⇒小田原(バス)⇒関所跡⇒元箱根⇒甘酒茶屋⇒畑宿⇒須雲川(バス)⇒小田原(JR)⇒戸塚 歩行時間 約3時間

<実施日>

5月14日(土) 朝方 戸塚駅出発

夕刻 戸塚駅到着

昨年秋のハイキングは9時のミサ後出発という事もあって時間に余裕がなかったので、今回はゆっくりと一日かけて箱根を散策する旨、担当の山田さんから説明があった。(詳細は、壁に掲示してあります。)

### 4. ミサ中の「朗読」及び「奉獻」

朗読者の対象範囲を広げ、スケジュール化して事前に教会報に掲載する計画がある旨、典礼委員から説明があり、壮年会としても積極的に協力することを申し合わせた。また、壮年会担当日の「奉獻」については、朗読者が併せて実施する様ルール化した。

### 5. 中和田サロンについて

二俣川教会建て替えに伴う当教会貸出しで、11時のミサが設けられる等、周囲条件の変化はあるが、従来通り続けることを確認した。

以上.

## おしらせ

- 洗礼 5月20日  
 マリア 佐藤 彩香<sup>きやか</sup> 栄区元大橋 1-41-16 みどり荘 202 Tel.893-8228  
 (4月25日生. お母様は 旧姓 望月 恵子さん)
- 転入  
 ベルナデッタ 宮川 多恵子 藤沢市長後1312-21 Tel.(0466)45-5747  
 マリア・モニカ タウ・タンタニ 泉区上飯田町2619 いちよう団地32-611  
 ペトロ チェン・ソッタ・サムナーン 同上
- 霊的花束のお願い  
 山崎神父様の霊名の祝日(ペトロ 6月29日)の霊的花束を  
 お願い致します。締切りは6月26日(日)です。
- 山崎神父様 黙想会  
 7月4日～7月8日 於 イエズス会 黙想の家  
 緊急連絡先 Tel.(0467)25-1616～7



## 信徒名簿 補修 (その2)

- 氏名訂正  
 誤 マリア・ジタ 高橋 トシ  
 正 マリア・ジタ 高橋 トシ子
- 霊名訂正  
 誤 マリア・ドロローザ 阿部 映子  
 正 マリア・ドロレス 阿部 映子
- 住所訂正  
 誤 ヨハネ 宮崎 誠 (港北区すみれ荘 20-21)  
 正 ヨハネ 宮崎 誠 (港北区すみれが丘 20-21)
- 氏名、住所訂正  
 誤 カタリナ 望月 恵子(和泉町1966-51 ☎802-6982)  
 正 カタリナ 佐藤 恵子  
 (栄区元大橋1-41-16 みどり荘202 ☎893-8228)
- 索引訂正  
 誤 P.15 高橋 トシ  
 正 P.15 高橋 トシ子  
 誤 P.15 高橋 綾子  
 正 P.15 高橋 綾

## 編集後記

ある日の壮年会の方々の雑談より。(酒のつまみの話)  
 S氏「ニンニクの串焼きはうまいが、どうも匂いがねー。」  
 U氏「ニンニクの外皮を除いて、天ぷら油であげると、匂いもとれ、栗の実のような味で実においしいよ。」  
 H氏「いや、ニンニクを電子レンジで1分弱加熱すれば、簡単だし、匂いも全くなし、味噌でも付けて食べるとおいしいんだ。これが。」  
 F氏「いや、家族全員で食べるのが最も簡単で良い。」  
 色々勉強になります。

(E. I.)



## 今月の予定

- 6月 5日 委員会  
 6月 29日 山崎神父様  
 霊名の祝日  
 サロン 12、26日  
 レジオ 10、17、24日



第193回  
 カトリック中和田教会  
 広報委員会発行  
 泉区 中田町 2701  
 Tel. (045) 803-6141  
 1994年 6月 5日



一月二十五日 ④

山崎 正俊

◎ 今日の聖書の朗読では、どのようにして、聖パウロがカイシンすることになったかということが、聖パウロのほうからと、アナニアという弟子からのと、両方の書き方で述べられています。その何れのほうを読んでもよいことになってはいますが、それでも、両方を続けて読もうとすれば、それでもできますから、それは「あったこと」として認められることができるのでしょ。

あの平田篤胤のことですが、気が付いたときには、神道の偉大な先達であった本居宣長は、もう死んでしまっていたので、どうにもなりません。そこで大真面目で考えたうえで、夢は時として事実以上の事実であるという考え方のあることを利用して、夢の中に、本居宣長に対して弟子入りを申し込み、束脩をさし出し、受け入れられたという話をするのです。束脩というのは、弟子入りの申し込み書と、その謝礼のお金のことです。それでも、非難と反発は覚悟のことでしょう。

宣長の著書は、よく読んでおったので、新しい解釈や、死後の世界についてまで論じ切るといってもあるのですが、宣長の流れをしっかりと身につけ、受け入れていることでしたから、誰も反対できず、いつの間にか、宣長没後の門人(死んだあとに弟子になった者)として認められたばかり

でなく、特に優れた後継ぎとしての尊敬を受けているのは、さすがの者ですが、あの頃、神道の学者として人を集めて教えるためには、本居宣長の権威は重要なものであったのです。それでも、神道の学者としての範囲のうちにいます。

◎ 聖パウロも、この平田篤胤も、似たような話になっています。一人は、自分で云い、他は、弟子が記していると云う、その違いだけです。それでも、聖パウロの場合には、聖書の内に述べられ、それを証明するような業績もあるということが、摂理的なことと云わねばなりません。念のために云いますと、ここでの聖パウロへのイエズス様の御出現を否定する人たちが、私の友人の神父たちにもいますけれど、それと私は、関係がありません。ただ、そのエイキョウの受けとめ方に、方向こそ違っていますが、自分を権威付けるため、その道の中心的なお方を、ウシロダテにしたという、その事実、或種のひたむきさと、ホホエマシサを感じ、私自身の、「カトリックの司祭としての生き方」の中に、キリストのことをより深くより正しく、きわめようとしているわけを、「似ている」とだけ感じて、恥じながらも、ヒト呼吸おこなうに、正直にお話したわけです。

# カトリックと茶道



宮崎 左喜男

ているミサは特別な場合を除き神父様だけが葡萄酒を頂くが、もともとは信者も回し飲みしていたという。

つまり利休はミサを見ていてその様式を茶道に取り入れたのではないかと考えられるのである。

さらに「カトリック」と「茶道」の共通点を挙げてみると、教会の入口にある”聖水”これに対応するのが茶室に入る前に身を清める”つくばい”。そして聖杯を拭く白い布は三つ折りにして行うし、茶碗を拭く茶巾も三つ折り。千利休が生きた時代はフランシスコ・ザビエルが日本にキリスト教を伝え、多くの日本人がキリシタンになった全盛期。これだけ共通点があると偶然の一致とは思えないと筆者は言っている。

私の様な凡人にはこういった感度の高い考えは到底およびもつかないが、すくなくとも遠い昔に学習し、今はすっかり風化してしまった”日本史”にもう一度親しんで見ようかと思わせる内容であった。

最近ある雑誌で「カトリック」と「茶道」についての記事が私の目を引いた。

それによると「カトリック」と「茶道」には多くの共通点があるのだそうだ。その一つが”回し飲み”。現在の茶道を確立したのが豊臣時代の千利休であることはよく知られている。

千利休はそれまで各人の前にあらかじめ抹茶を入れて用意された茶碗に一人の僧侶が湯瓶と茶筌を持ってお湯を注ぎ、茶をたてながら回っていくという従来のスタイルに一つの茶碗から”回し飲み”という手法を取り入れたという。

この”回し飲み”、カトリックのミサの際にキリストの血である葡萄酒を回し飲みするというところから来ているのではないかとその筆者は推測している。現在行われ

# 委員会だより

<5月1日(日) 14名出席>

- 4月29日に磯子教会で石川師の叙階式が挙行され、中和田教会から委員長、壮年会長が列席した。  
(磯子教会から最初の司祭誕生の由)
- 二俣川教会からの(御聖堂借用)協力要請：4/13の要請に対して、4/17に委員長名で公式に返書を発信した。骨子は次の通り：  
・毎週日曜日午前11時から二俣川教会ミサ。  
・経費負担は、毎月10,000円をお願いする。  
・その他、問題発生した場合は、都度担当部署間で詰める。
- 5月のごミサ：日曜日の9:00のみとする。尚、5/27～5/29に山崎神父様が『カトリック国鉄の会』にご出張。  
5/29 9:00AMのミサについては、二俣川教会神父様にお願い済み。
- 4月度財務報告：委員会了承
- ごミサの当番について：  
・毎月、中和田会報に、先唱、侍者、...等の当番氏名表を掲載することに決定。  
(特に6月発行の会報には、6月、7月の2ヵ月分を掲載するが、原則1ヶ月分)  
・先唱は、基本的に以下の分担とする。  
・第1日曜日：壮年会  
・第2日曜日：青年会 & 中高生会  
・第3日曜日：婦人会  
・第4日曜日：壮年会
- バザーについて：  
バザー委員会を中心とする活動が始まっている。  
信徒全体、壮年会、婦人会、委員会の全面的協力を確認、申し合わせた。

以上



# 壮年会だより

<5月15日(日) 10名出席>

- 委員会報告 (鈴木副会長)
- 新入会者紹介  
石井彰宏氏が新入会された。
- 春のハイキングについて  
5月14日(土)実施された。  
参加者8名。当日は天候に恵まれ、箱根旧街道を歴史の勉強をしながらゆっくりと一日かけて散策しました。  
最初は皆さん顔で笑っていましたが、最後の方では膝が笑っていたようです。
- 壮年会名簿、連絡網見直しの件

脱会、入会にともなう見直し案を検討。近々配布の予定。

- ミサ中の「朗読」及び「奉献」の担当  
6/5 橋 6/26 山田(孝)  
7/3 清水 7/24 小谷  
上記各氏に各々確認した。
- バザーについて  
鈴木バザー委員からバザーの取組方針、準備の近況等の紹介があった。外来者等多数参加が予測されることから、「場内整理等、壮年会としても積極的に協力するべきでは」との意見も出された。
- その他  
当教会の次代を担う青年層組織のバックアップ...今後検討。

以上



# 婦人会だより

<5月15日(日) 21名出席>

- 委員会報告
- ごミサ時の当番について  
6月から、ミサに於ける朗読・奉納が次のようになります。  
①第5日曜日にも婦人会の担当となります。当番月の地区は、第3と共に第5も担当して頂くこととなります。  
②第1、第2朗読とも婦人会が担当しますが、一人でするか二人で各々にするかは、担当地区の自由です。
- バザーの件  
①自主作品の積極的な提供をお願いします。  
②教会での作業に参加できない人の為に、材料をセットしてお渡しますので、協力して頂ける方は、お願いします。  
③毛糸(古毛糸で可)を寄付して頂ける方がありましたらお願いします。
- 不用衣料品の交換会について  
6月12日(日)ミサの後、14日(火)のファイバー・リサイクル(会報190号で既報)に連動させる形で不用衣料品の交換会を二階和室にて行います。夏物を中心にお持ち寄り下さい。  
置き場は下記のようにお願いします。  
◎リサイクル向き：  
ビニール袋に入れて、「リサイクル」と明記して、一階和室に。  
◎交換用衣料：  
一階和室のダンボールに。

以上

[次回例会は6月19日・当番はC地区です]

# ミサ 当番表 (6、7月)

月/日	第一朗読	第二朗読	奉納	オルガン	備考
6/5	橋	橋	橋	石川	壮年会
6/12	武田	島倉	武田	岩淵	青年会
6/19	婦人会C地区			大宮	婦人会
6/26	山田	山田	山田	美底	壮年会
7/3	清水	清水	清水	石川	壮年会
7/10	武田	島倉	島倉	岩淵	青年会
7/17	婦人会D地区			大宮	婦人会
7/24	小谷	小谷	小谷	美底	壮年会
7/31	婦人会D地区			石川	婦人会



※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。

(萩原 ☎802-6258)



ニューヨークの青柳さんからの便り  
(1994年 6月10日)

神父様、婦人会の皆様へ

皆様お元気ですか。

日本は梅雨の季節ですね。その後神父様のお身体の具合は如何ですか。

私がニューヨークにまいりまして一カ月になります。日本から送りました荷物も、それぞれの場所に納まり、少しは落ち着いて生活できるようになりました。でも電話のベルが鳴る度に胸がドキドキし、相手の言葉の意味が全く理解できずにおろおろしたり、間違いや勘違いはしょっちゅうでして、その度に心細く、情けない思いをしています。でも徐々に慣れてきたのでしょうか。少しずつ元気が出てまいりまして、いつもの青柳さんに戻りつつあります。

こちらの一年の季節の移り変わりは、日本の気候とほぼ同じですが、春は短く5、6月の若葉の美しい時期が過ぎますと、梅雨はないそうですが、夏は大変蒸し暑い様です。秋は、一年中で自然が最も美しくすばらしいとのことですが、あつという間に冬になります。冬は長く厳しく、今年は18回も雪が降り、氷点下-20度になった日もあったそうです。4月下旬まで冬のコートはクリーニングに出せません。

ニューヨークは、東京の山手線の内側とほぼ同じ位の広さのマンハッタン島という島で、四方を川と海で囲まれています。この中には、緑が一杯のセントラルパークを始め、たくさんの公園があり、晴れた日の休日にはニューヨーカー達が思い思いのスタイルで、日向ぼっこやジョギング、犬の散歩、楽器の演奏、パフォーマンス、ピクニック、スポーツ、ローラーブレード(靴の底に車輪が4個

1列についていて、今ニューヨークで大流行中)で走り回ったり等々、皆戸外の生活を自由に楽しんでいます。またメトロポリタン美術館、近代美術館等、すばらしい公共施設が数多くあり、この点でも、この国はすごいと感じます。これからゆっくり時間をかけて見学したいと思っております。

私は毎日曜日アパートから歩いて10分の所にあります。聖トマス教会の8時の御ミサに行くことにしています。この教会についてはまだ勉強不足で良く知らないのですが、広さは四谷の聖イグナチオ教会位だと思います。8時の御ミサは、御聖堂の中の片隅の小さな祭壇であげられ、御聖体とブドウ酒が頂けます。御ミサ中のお祈りも、中和教会での御ミサの式次第を思いながら、日本語と英語を見比べながらお祈りしています。お説教がありませんので30分で終わります。帰りに、神父様が出口に立たれ、一人一人と握手をして朝の挨拶を下さいます。まだ"Good morning." だけですが、その内何かお話をしたいと思っています。

聖トマス教会の斜め向かいに有名な聖パトリック教会があります。ニューヨークの五番街の有名店の立ち並ぶ中心地に近代的な高層ビルとそれなりの調和を見せて大聖堂があります。常に大勢の観光客が出入りしていますが、そのにぎわいの中で、時間がくれば中央の祭壇で御ミサが始まります。建物を見物したい方はご自由に、御ミサにあずかりたい方はどうぞ、ということのようです。日本ではちょっと考えられません。

ではまたお元気で。

青柳 恵代

Tel. Fax (212) 753-5744

おしらせ

□ 霊的花束

山崎神父様の霊名の祝日(ペトロ 6月29日)の霊的花束の御協力ありがとうございました。神父様には、7月3日(第一日曜)にお渡し致します。

□ 二俣川教会聖歌隊の聖堂使用

7月24日より、第四日曜日の11時御ミサ終了後、二俣川教会の聖歌隊の練習の為、聖堂をお貸しすることとなりました。

信徒名簿 補修 (その3)

□ 住所訂正

誤 セシリア 永田 麻里 (和泉町2788 和泉アパート243)  
正 セシリア 永田 麻里 (和泉町2788 和泉アパート234)

編集後記

今月は原稿量の多さに嬉しい悲鳴！ 掲載しきれない分もあり、次回も乞う御期待。

(E. I.)



今月の予定

7月 3日 委員会  
7月 4~7日 山崎神父様 黙想会  
サロン 10、24日  
レジオ 8、15、22、29日

第194回

カトリック中和教会  
広報委員会発行  
泉区 中田町 2701  
Tel. (045) 803-6141  
1994年 7月 3日



一月二十五日(付)

忘己利他

山崎 正俊

◎ 「モウコリタ」と読む。これは不思議なギャグを表している。しかし、この文章は佛典にあるので、呉音の読みに従っているのかもしれない。日本語としても憶えやすい。「悪事は己に向かえ、好事は他に与え、己を忘れて他を利するは、慈悲の極みなり」これは伝教大師・最澄というお方の、撰によるものだそう。根本中堂の執事の名によって、その廻廊の掲示板に張り出されてもいた。「み佛の慈悲の心」と記されている。実は、教皇様の話のなかに、同じ言葉が引用され、称えられるのを聞いて(先ほど世を去られたけれども)、ときの座主も、カトリックの教えもその極まるころは同じになるかと、親しみを持たれたとか。「キリストの愛」と「み佛の慈悲」の間に、差異は一見、ほとんどないかと考えられたらしい。いろいろな言葉が使われていても、その信仰の行いが示されるころを見比べれば、区別はあまりないのは、当然のことだろう。その御開山の御生涯は、御自分を呪い裏切るのを御承知で、その救いの道を開こうとする御奉仕に徹しておられるものであるのに、いづれのところでも、それほど心の眼や耳の、遠さや薄さが妨げになっているものらしいところがあると云われ、いまに至っても、同じ教えが繰り返され続け、まったくの新しいものであるかのように話され、説き聞かされておる。それなのに、あまり守られていないようなのは、人間のならわしだとは、まことであろうか。

日本鉄道カトリックの会の全国大会の巡礼先のひとつに、比叡のお山が含まれておったから、その根本中堂の御法灯のみまえておこなわれた、御法話の二十分は、疲れ切った私には音声が聞こえただけの、得難い体験として、この上ないものであった。その二泊三日にわたっての予定表はとどこおりなく消化され、大きな喜びと衝撃となる感動をもって思い出されるのですが、それが静まるまでには何故か、生理的なトラブルがあったりしたのは、どうも身の程を忘れたせいかも。

それにしても、釈迦やキリストが、これほどはっきりと伝えられ、その道を求めつづけていたのに、世の移り変わりにまどわされ、すこしも実現されなかったようなのは、奇妙なことで、耳のすぐそばでしつこく訴えられているのに、他の人のことだと思っていたのだとは、何とも、あいすまぬこと。

◎ 三十数年前のこと、某佛教学のお坊さんがなされた「佛教の人生観」に就いてのお話によると、結論とその日常の経験との問題にはふれず、「このように説明することもできる」とあった。そのお方の生き方のうちには何故か、御開山の御心もなければ、信仰のカケラも見えなかった。それでも、いまも、このお山のうちには、「信仰に生きようとする者の道場」というヒタムキさが、押し迫って止まぬ。

# スキーに挑戦して

山田 孝信

登山を始めて約10年になるが、これまでは夏山が中心で冬山には行った事がなかった。冬は夏山のためのトレーニングとしてもっばら低山ハイキングを行っていた。以前より白銀の山にスキーで登って見たいとの夢を抱いていたが、私の育った北海道の釧路は太平洋岸であり雪が少なく、従ってスキーの経験はゼロ。又、この歳では無理と諦めていた。しかし山の仲間より山スキーの素晴らしさを聞かされて、山スキーへの憧れが一段と強まって行った。そこで思い切ってスキーに挑戦して見ようと思ひ、スキー教室に参加の申し込みをした。この時既に57才、この歳で大丈夫かな？との不安をいだきつつ参加したが、スキー教室の先生が親切に教えてくれスキー教室最終日(三日目)には初級者用のゲレンデをボーゲンでゆっくりではあるが

自由に滑れるようになった。今はスキー用具が発達し、スキーと靴、足が一体となりカーブは以外と簡単に曲がれるのである。ゲレンデスキーはリフトで上がり滑降してくるだけなので、体力の消耗も少なく、中高年者にも楽に行えるスポーツである。スキー場には、初級、中級、上級のコースがあり、自分の技術に合ったコースで滑れば良いし、下手は下手なりに楽しいものである。是非挑戦してみたいかだろうか。

2~3回スキー場に通り少し自信が付いたので、山の仲間日光の山スキーに連れて行って貰うことにした。このコースは緩やかな傾斜の林道をスキーで登り、その夜は山小屋(無人小屋)に一泊し、前日登ってきた道を滑って降りるのである。途中より林の中を縫うようにして滑ってきた。爽快な気分を満喫し、スキーをやった良かったとしみじみ思った。

人生何事にも挑戦の心が大切だと思っている。何才になっても挑戦の心を失わず、常に前向きに進めば、新しい人生が開かれてくるのではないかと思う。

それにしても、チームワークの良さ。暖かい光を包む様に時間が流れる。美しい!! 偉い人達だな!! いつしか私も老一人の生活となったけれど、しかし希望した旅に同道させて頂き、事なく帰宅した喜びと感激は一入である。杖なしで自分の足で歩けた。リュックを背に袋を前に一つ。しかし本当は、杖はあったのだ。心の杖、そして各所でさし出される暖かい杖がなければ、とても無理であった。以前ハイキングの時も、足の痛みで終わりまで暖かい心の杖とやさしさにすがらせて頂いた事を忘れていない。久々に古都の空気を一ぱい吸って、二度と体験できないだろう体験をさせて頂き、佳い思い出を心に抱いて、一歩でも、半歩でも前進して行きたい。喜びと、感謝のうちに。

# 心の杖

竹田 恭子



良い旅であった。天気模様もまずまずで傘はお供えとなった位。無事家に入るのを見届けて頂いて、我が家の人となった。

いつもそうであるように声をはづませて、息子の家に電話する。「お帰りなさい」と安堵の声が返ってくる。私が行けた、無事に帰ってきた。佛壇に報告する。大粒の涙が止めどなく頬をつたう。恵まれる、与えられる。この小さな自分に大きなお恵みである。同行の皆様、本当に有り難うございました。おかげ様で、おかげ様で。マリア様にしばし感謝の報告を済ませて、ホッ!と一息つく。

## ミサ 当番表 (8月)

月/日	第一朗読	第二朗読	奉納	オルガン	備考
8/7	橋	橋	橋	岩淵	壮年会
8/14	武田	島倉	武田	大宮	青年会
8/21	婦人会委員			美底	婦人会
8/28	富田	富田	富田	石川	壮年会

※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。

(萩原 ☎802-6258)

## 委員会だより

<6月5日(日) 14名出席>

- 山崎神父様霊名祝日(6/29):
  - 霊的花束の準備・募集を行う。
  - 7/3のごミサ終了後神父様にお渡しする。
- 7/3~7/8山崎神父様が黙想会へ:
  - 留守当番表を張り出す。
- 5/22に、二俣川教会より5月分使用料として¥10,000を頂く。(特別献金扱い)
- 『敬老の日』のプレゼント:
  - 概算で、今年の贈呈対象者は約40名。
  - 今後も増加傾向にあり、やり方を変えたい。(清水委員長) 例えば、敬老ミサ,...etc. 次回の委員会までの宿題。
- 5月度財務報告(福島委員):
  - 委員会了承。
- 『青少年』の課題:
  - 位田副委員長を中心に検討を続けている。
  - 今後、当事者(親)が集って課題を纏め、(中和田教会固有の問題ではなく、全体の問題でもある為)教区に申し出ることを考える。
- 『侍者』の件:
  - 中和田会報の当番表に、侍者の当番を掲載することは取り止めた。
  - 子供が来られない理由は、部活、塾などであり、親の判断に委ねるしかないのが実情。(壮年会、婦人会で働きかけるしかない?)
- 『聖歌の集い』について:
  - 5/14に金沢教会で集りがあり、下記が決った。:
  - (1)運営は今迄通り山手教会を中心に行う。
  - (2)来年(1995)は2月26日に、(今まで通り)ミサ形式で山手教会で行う。
- 共同祈願の件:
  - 希望がある人は、内容を事前にメモで典礼委員に渡す。

## 壮年会だより

<6月19日(日) 15名出席>

- 委員会報告(鈴木副会長)
- 新入会者紹介
  - 森脇信行氏が新入会された。本人挨拶有
- 壮年会名簿、連絡網改訂版の件
  - 脱会、入会に伴う改訂版を配布した。
- バザー委員会報告(鈴木委員より)
  - 当初計画していた「バザー抽選券」は法律上問題がありそうな為再検討の必要あり。
  - バザー全体の会計を甲斐(壮)、七浦(婦)両人が担当する。等の紹介があった。
- 庭手入れ・懇親会の件
  - 7月17日(日)に実施予定。詳細は追って。

## 卓球大会について

- シニア層への配慮をしてはどうか。
  - 近隣他教会へも参加をよびかけ、エキジビションマッチを実施してはどうか。
- 等の意見が出された。

## その他

- 青年・高校生の「教会離れの問題」は真剣に取り組まなければならない課題であり、今後プロジェクト的組織で対応していきたい旨の紹介があった。(位田)
- 壮年会運営規定に記載されている会員の定義と実情に相違があり、再検討の必要があること。また会の活性化を目的とする「会名称の変更」の件については継続審議することになった。

## 婦人会だより

<6月19日(日) 35名出席>



- 委員会報告
- お知らせ事項
  - 新会員紹介
    - 森脇 昭子さん
    - 岡津街1161-7 Tel. 814-0917
  - 横浜教区婦人同志会黙想会
    - 日時: 7月13日(水) 10時~15時30分
    - 会場: 雪の下教会(0467-22-2064)
    - テーマ: 「神との出会い」
    - 指導司祭: 池田 路信神父様
    - 会費: 500円
    - その他: 昼食は各自持参。申し込みは阿部(寿)さん迄。尚当日参加も可。
  - ニューヨークへ行かれた青柳さんからお便りがありました。(次頁に掲載)
  - 6月13日の不用衣料品交換会の売上げは、7900円でした。
  - 7月1日、戸塚教会に於いて開催の、ウェーバー神父様(ブラジルで宣教・援助活動中)によるミサとお話の集いの紹介がありました。(詳細省略)
- 話し合い
  - 「敬老の日」を教会としてどのようにしたら喜ばれるものになるかについて話し合いをしました
- バザーに関して
  - 食堂関連で候補にあがったものは、恒例のカレーとケーキの他、持ち帰りもできるまぜご飯類、みつまめ、カンボジア料理(タニーさんに教わって)等など。
  - 今年は、ケーキは、協力できる方々々々にお願ひすることにしますので、その節はよろしくお願ひします。
  - 自主作品の提供を重ねてお願ひします。
  - 新品の不用品のことをそろそろ心がけておいて下さるようお願ひします。

[次回例会は7月17日・当番はD地区]